

意味する。基本 DPC ともいう

iii 入院基本料等加算、指導管理、リハビリテーション、精神科専門療法、手術・麻酔、放射線治療、心臓カテーテル法による諸検査、内視鏡検査、診断穿刺・検体採取、1000 点以上の処置については、従来どおりの出来高評価である。それ以外の入院加算料、特定入院基本料、画像および画像診断合計、検査合計、処置合計、内服、頓服、外用、麻毒、注射、皮下筋肉内注射、注射その他合計などは包括範囲支払い評価とし、包括範囲総点数とした

iv 疾患群に対して行われる手術群、処置群、副傷病名群、重症度などを、学会（保険医療に詳しい専門医集団）から意見集約し、最大公約数として定義テーブルに表記している。このテーブルを基にして、症例数や変動係数に留意しながら樹形図や支払いが決定されることが望ましいが、データに基づいた臨床的妥当性の検証が更に行われることが望ましい

v 臨床的概念を重視し、臨床病名とそれに対する手術、処置、更には副傷病や各重症度を階層的に樹形図として表記している

vi 自治体立の特定機能病院、民間病院以外に、社会保険病院、日赤、労災病院、済生会病院。

vii 大学付属病院と国立がんセンター、循環器センター。

viii 骨折部位では、骨盤（基本 DPC160980）、頸椎（基本 DPC160870）、胸腰椎（基本 DPC160690）、肩関節（基本 DPC160700,160710,160720）、肘関節（基本 DPC160740,160750,160760,160770）、手関節（基本 DPC160780,160790）、股関節（基本 DPC160800,160810）、膝関節（基本 DPC160820,160830）、趾関節（基本 DPC160840,160850,160860）、四肢多発骨折（基本 DPC160990 の中の ICDT02\$\$）とした。

ix 手術は 5 項目収集しており、組み合わせがあった場合、難易度の順に優先選択し、カテゴリー化している。手術は診療報酬点数コード上のコードから、

抜釘 K048\$,K065\$,K128,K1282,K083、非観血的整復 K044\$,K061\$,

観血的整復 K045\$,K046\$,観血的脱臼整復 K063\$,

関節内骨折手術 K073\$,K080\$,人工骨頭挿入 K081\$,人工関節置換 K082\$,

骨盤骨折手術 K117,K118,K131,K132,K139,K142\$,K144,

脊椎脱臼骨折手術 K121,K124,K125,K143 とし、これ以外の手術は 1 つに集約した。

x K612\$

xi K059\$

xii K012\$,K013\$,K014

xiii K015\$,K016\$,K017\$,K019\$,K020\$,K021\$,K021-2\$,K022

xiv C(Comorbidity),C(Complication)と称する。更に Complication を併発症（入院後手術、処置と直接因果関係のない疾患）と続発症（入院後行われた手術・処置に直接因果関係のあるもの）とに区別することがある。今回併発症は深部静脈血栓症や肺梗塞としている。また手術処置関連続発症は各 MDC 毎に、T81\$-87\$から妥当なものを拾っている。

xv 今回副傷病として、MD 指標,Charlson 指標を活用したのは、現行定義テーブルの副傷病が MDC 間（DPC 間ですら）整合性がなく、未整理のままであり、これを整理する目的もかねて前述副傷病をリストアップし、これに深部静脈血栓、肺塞栓を追加した。肝障害のところにも妥当と思われる ICD10 コードを MD 指標に追加している。悪性疾患の DPC においては、悪性新生物の MD 指標はカウントしなかった。

xvi ICD10 コードでは E102-8,E112-8,E122-8,E132-8,E142-8 と MD 指標では定義している。

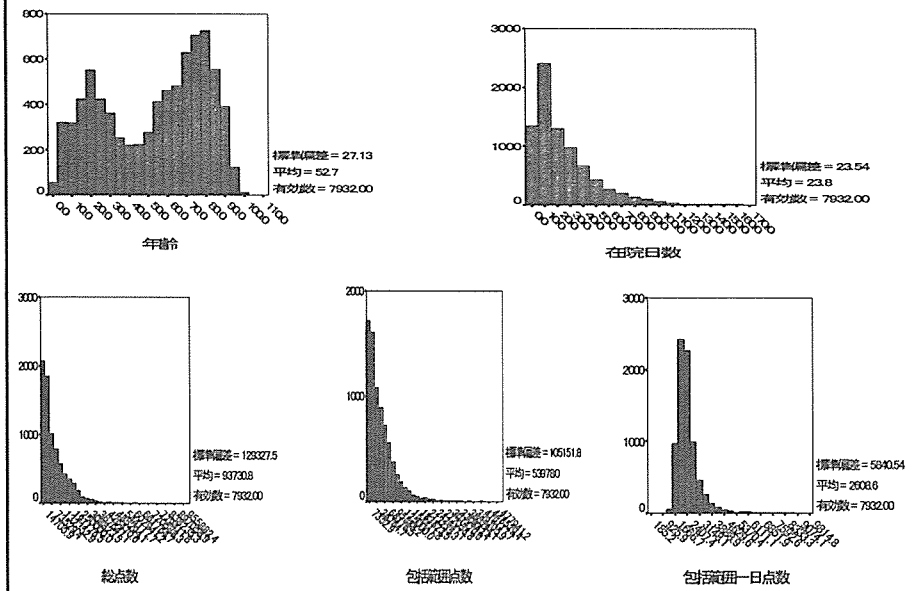
xvii E100,E110,E120,E130,E140,E101,E111,E121,E131,E141,E109,E119,E129,E139,E149

xviii F00-F021,F03\$,G30\$-G311

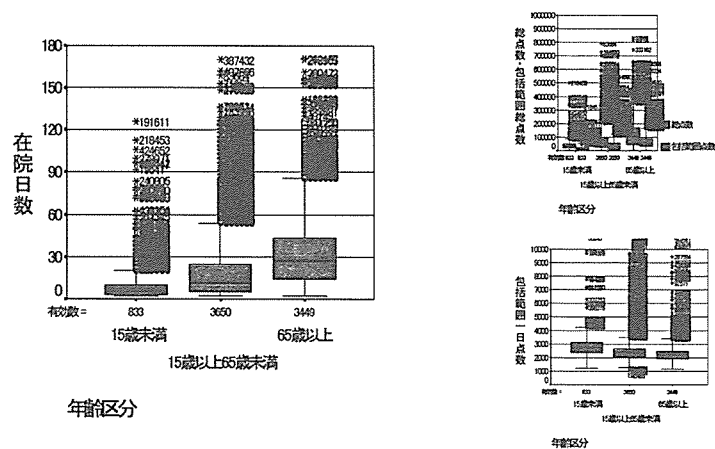
xix G81\$,G041,G820,822-3

xx J40,J41\$-47\$,J60-1,J62\$,J63-5,J66\$,J67\$, J961,J969
xxi I70\$,I71\$,I72\$,I73,I771,R02
xxii N01\$,N03\$,N05\$,N07\$,N19,N25\$
xxiii N18\$
xxiv M05-M06,M08-M09,M32\$-M34\$,M35\$
xxv K700,K701,K709,K710,K713-716,K718,K719,,K721,K729,K73\$,K748,K760-761,K768-769
xxvi I850,I859K702-704,K711,K712,K717,K720,K740-746,K762-767
xxvii C00\$-C96\$,D890,Z85\$
xxviii I21\$,I22\$,I252
xxix I60\$-69\$,G45\$,G46\$
xxx K25\$-28\$
xxxi A\$\$\$,B\$\$\$
xxxii N17\$
xxxiii J960
xxxiv I50\$
xxxv B150,B160,B162,B190,K720
xxxvi D65
xxxvii I260,I269,I80\$
xxxviii T81\$-87\$を手術関連連続発症とした。創感染、出血、膿瘍形成、人工物挿入合併症などが該当する。
xxxix 対照は年齢で 15 歳以上 65 歳未満群、女性、地域では関東、私立とした。外傷部位は『足関節』、骨折状態は『閉鎖骨折』、手術は『手術なし他群』を対照とした。他因子は無群を対照とした。

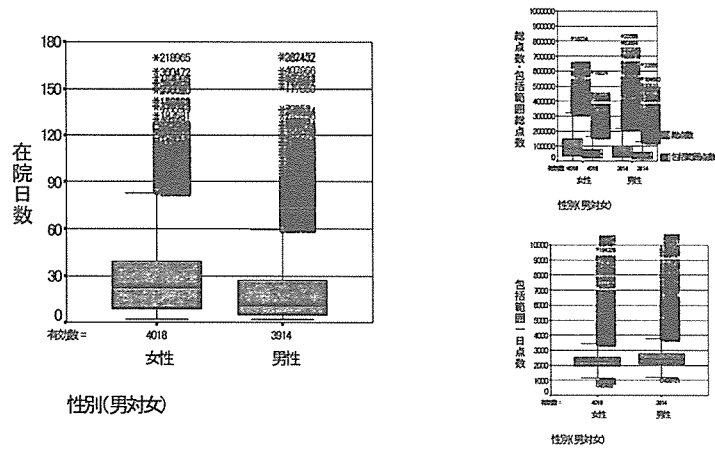
図A群



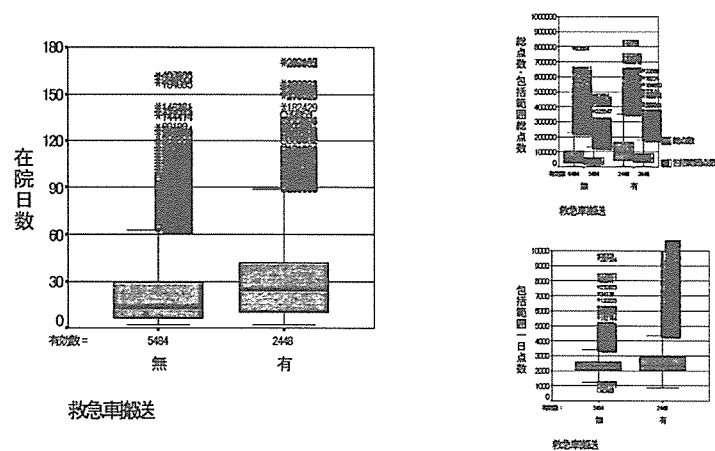
図B群(年齢)



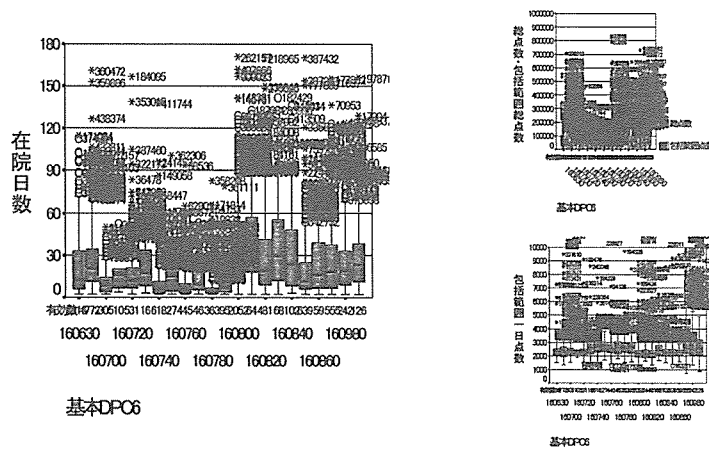
図B群(性別)



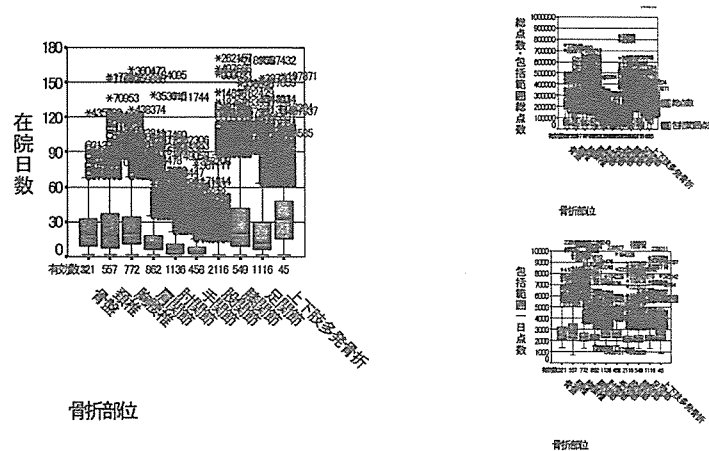
図B群(救急車搬送)



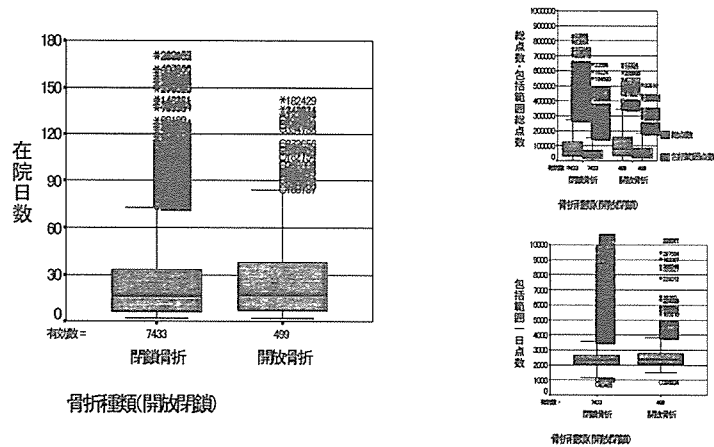
図B群(基本DPC別)



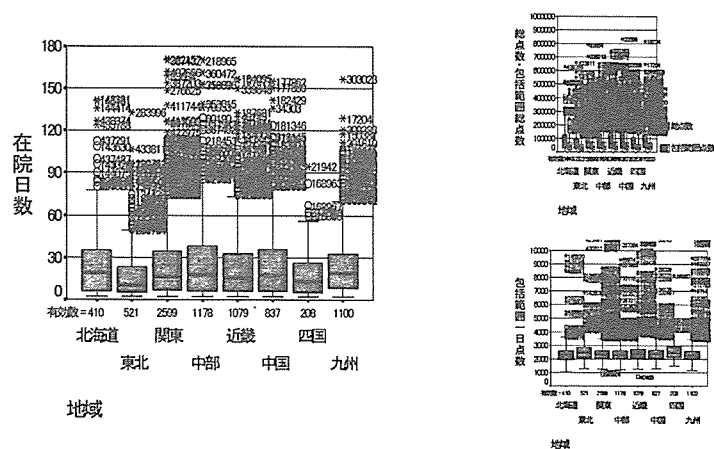
図B群(骨折部位)



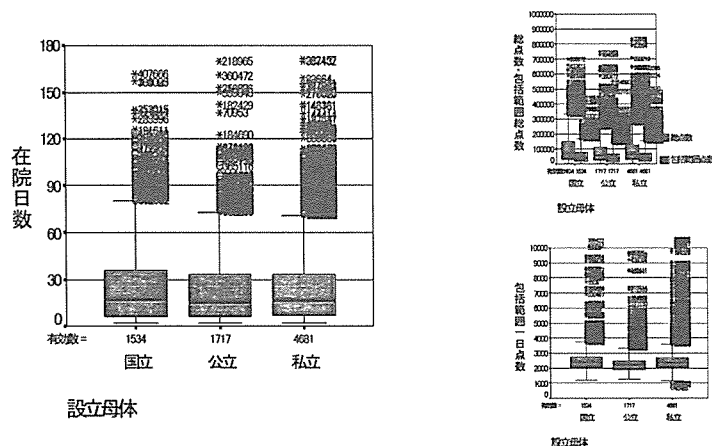
図B群(骨折種類)



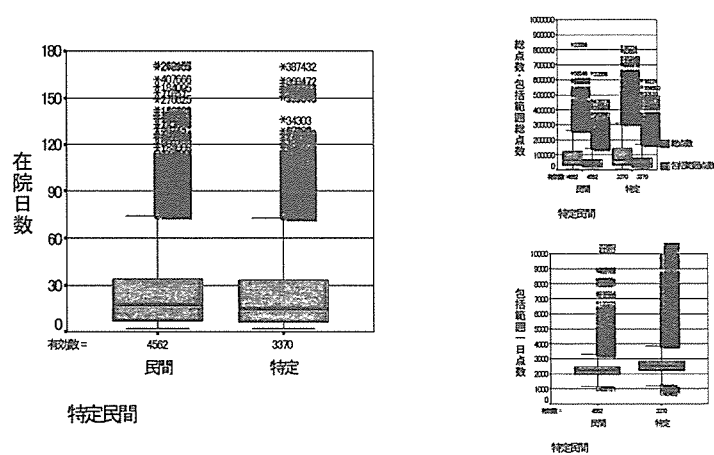
図B群(地域施設)



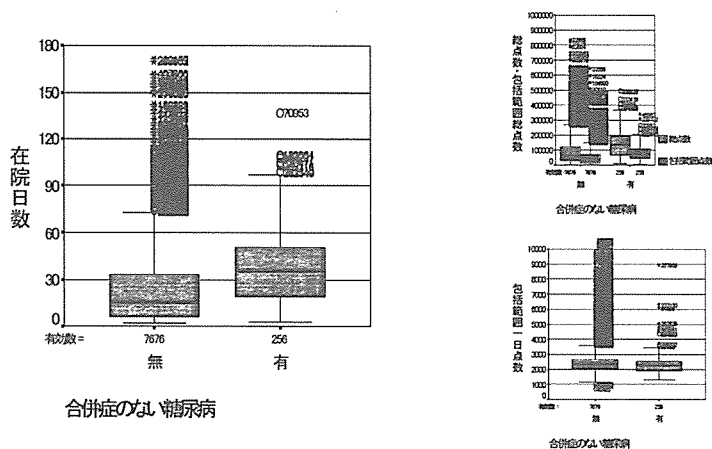
図B群(施設母体)



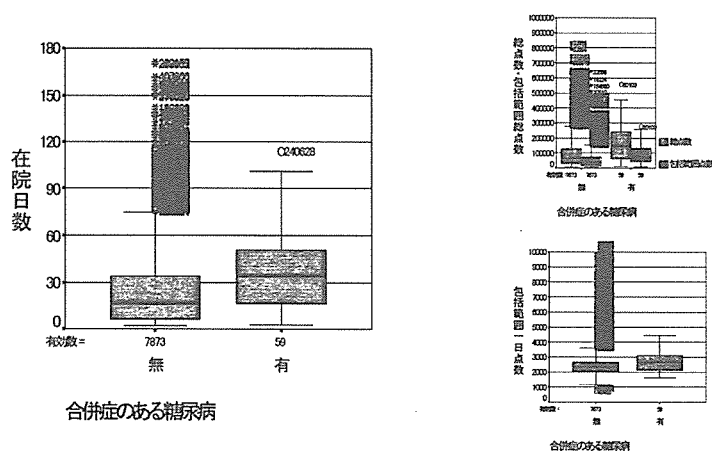
図B群(施設機能)



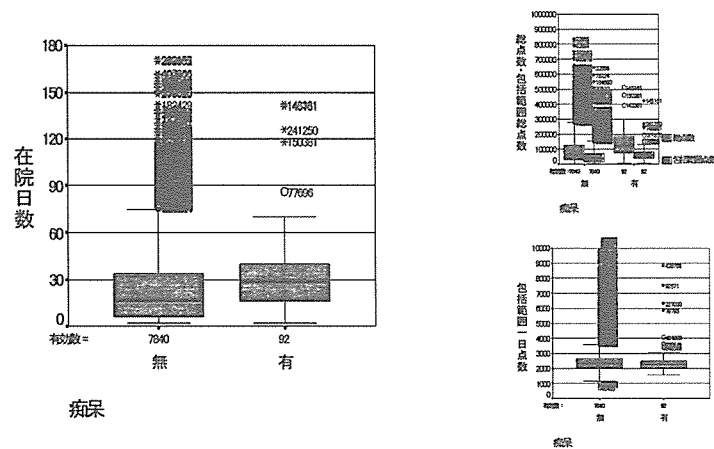
図B群(合併症のない糖尿病)



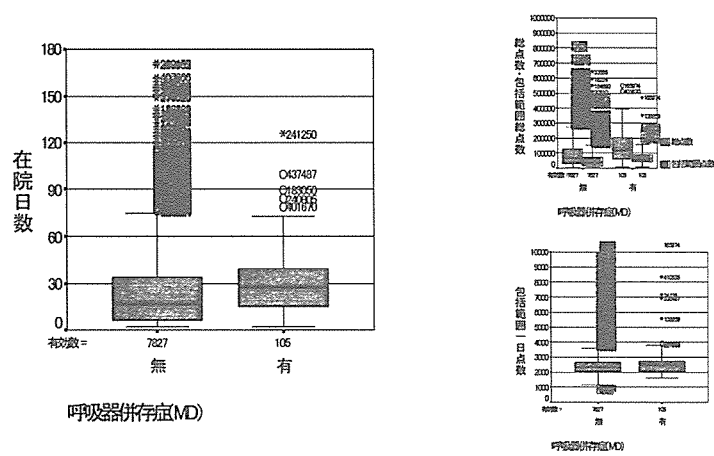
図B群(合併症のある糖尿病)



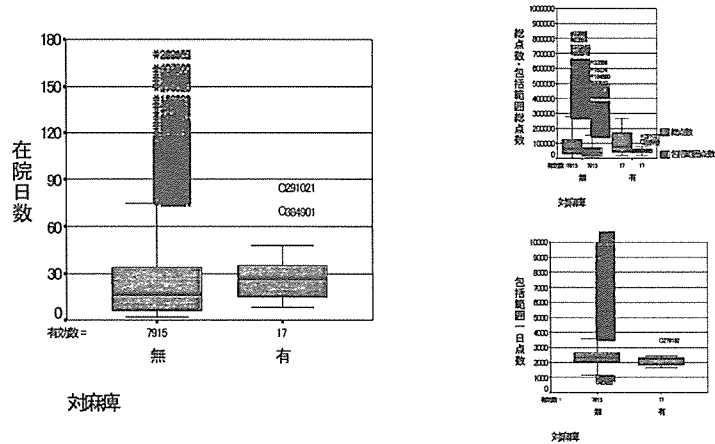
図B群(痴呆)



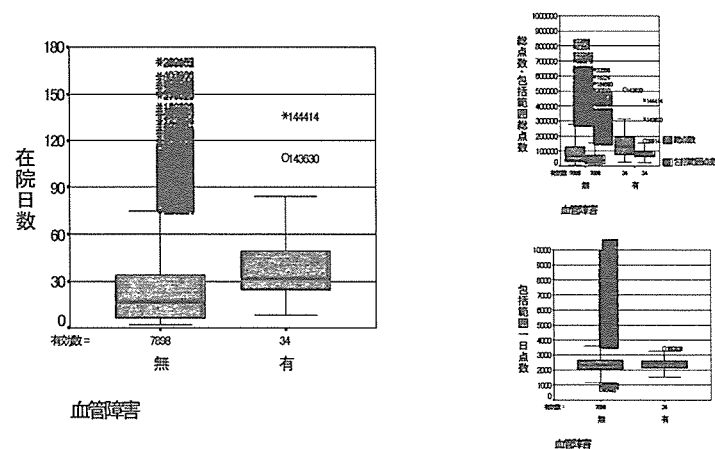
図B群(呼吸器併存症)



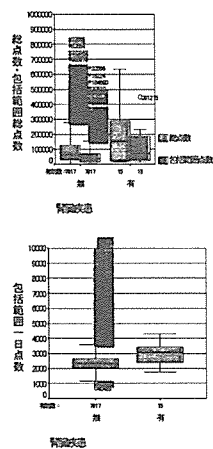
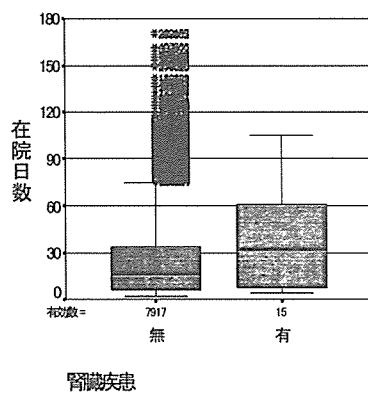
図B群(対麻痺)



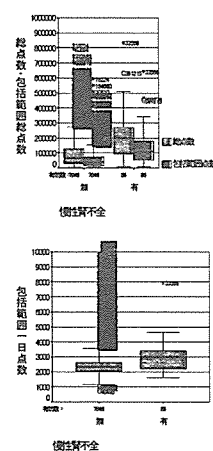
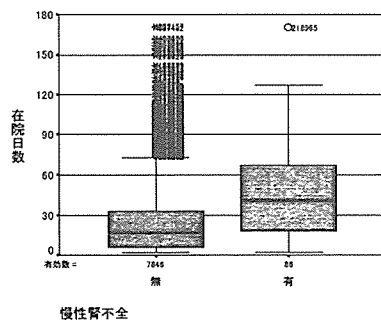
図B群(末梢血管障害)



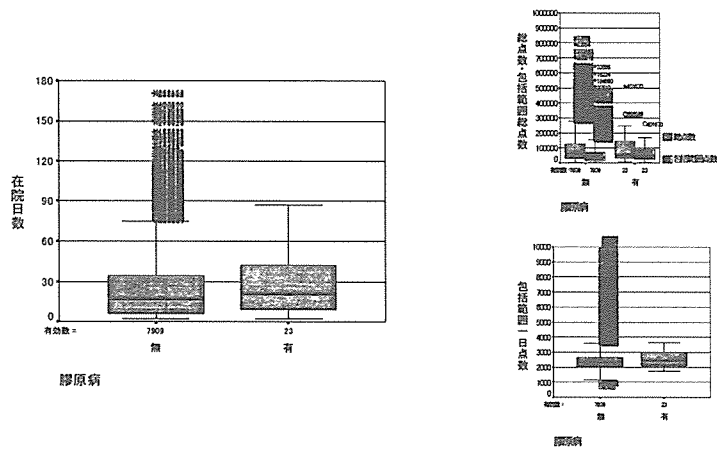
図B群(腎臓疾患)



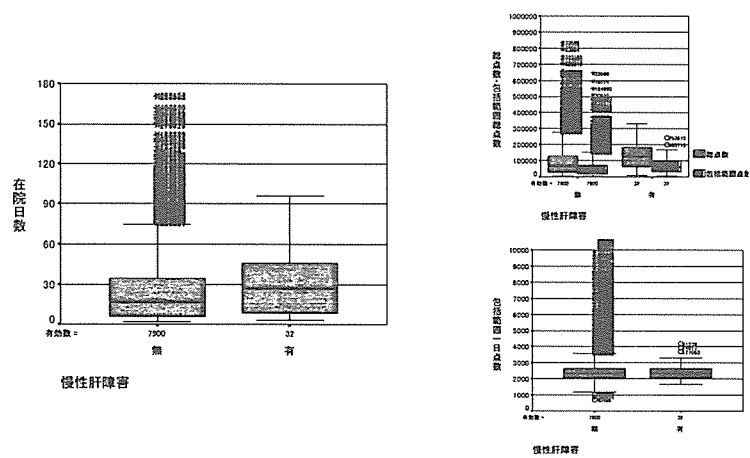
図B群(慢性腎不全)



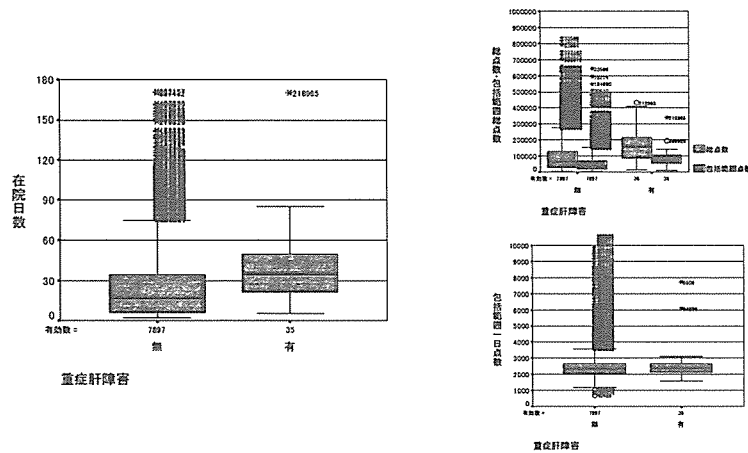
図B群(膠原病)



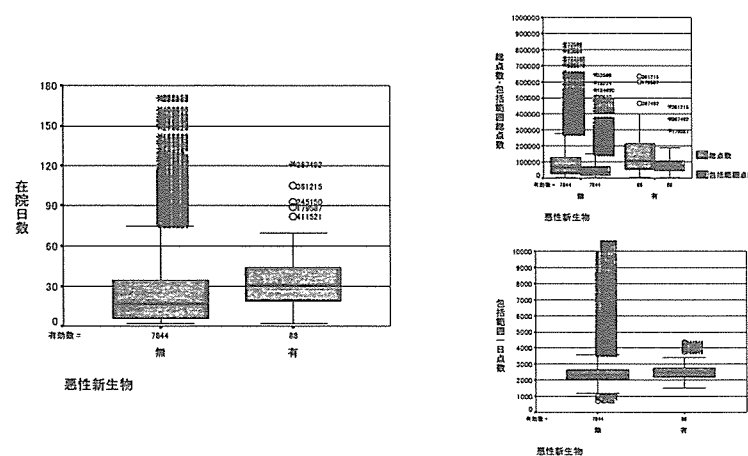
図B群(慢性肝障害)



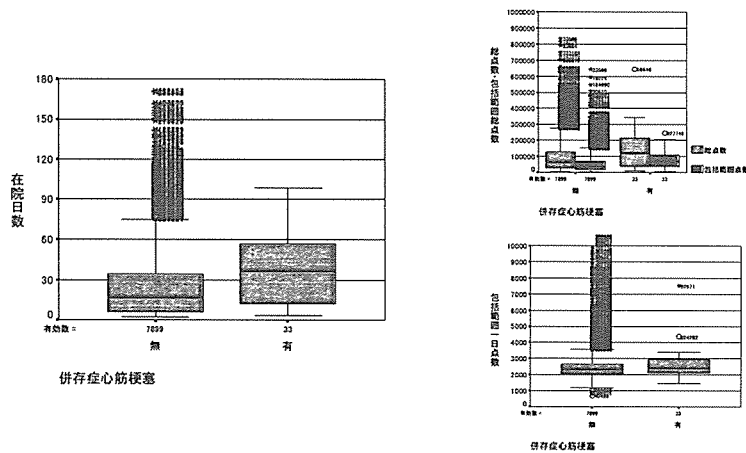
図B群(重症肝障害)



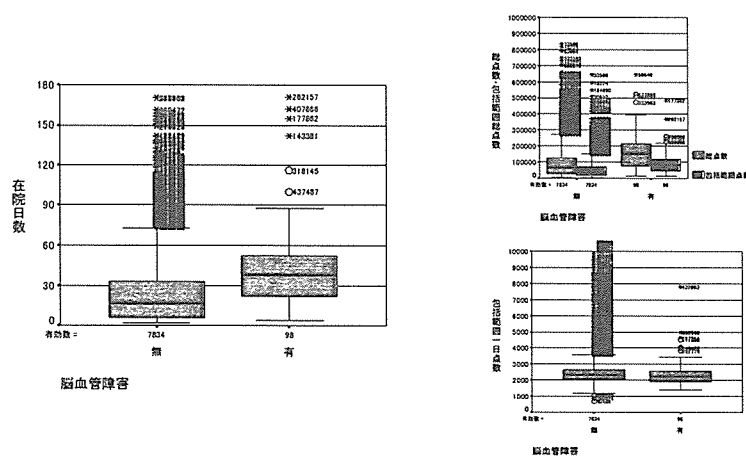
図B群(悪性新生物)



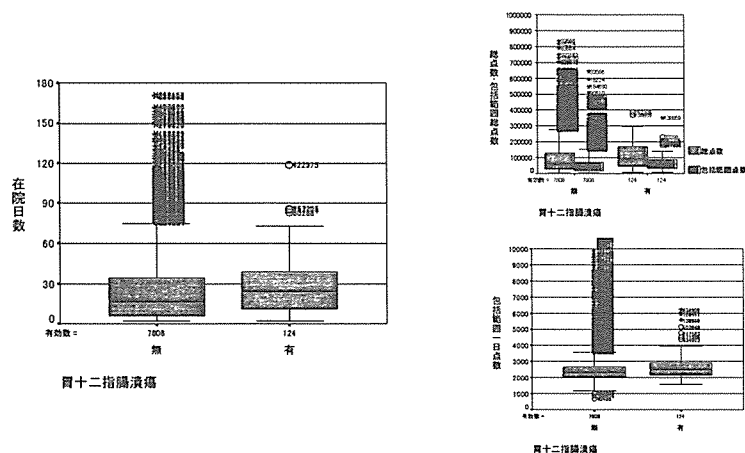
図B群(併存急性心筋梗塞)



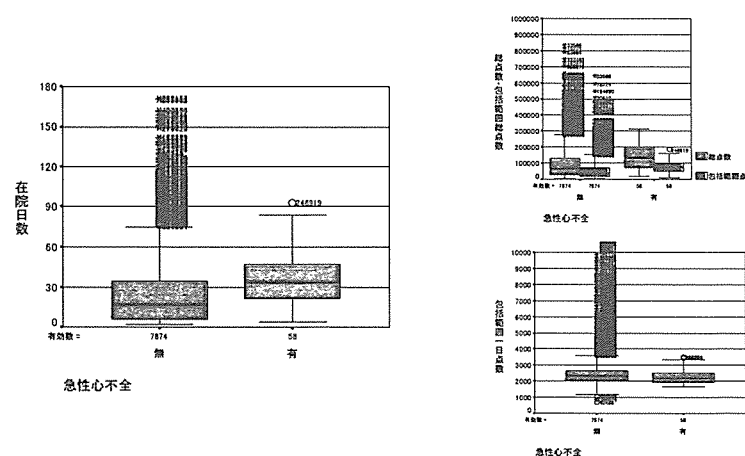
図B群(併存脳血管障害)



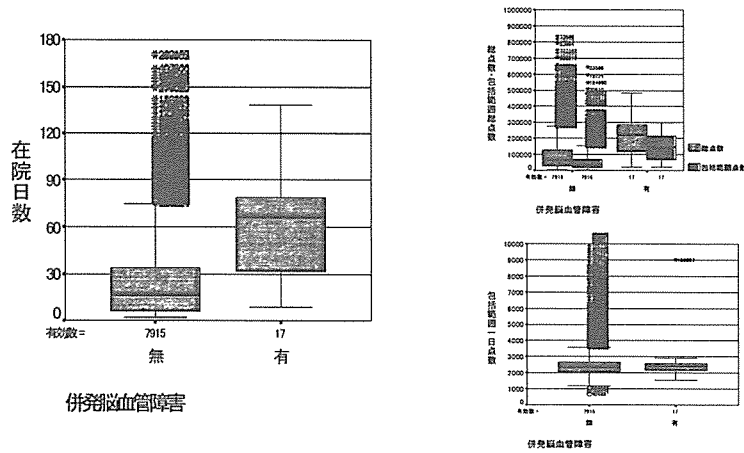
図B群(併存胃十二指腸潰瘍)



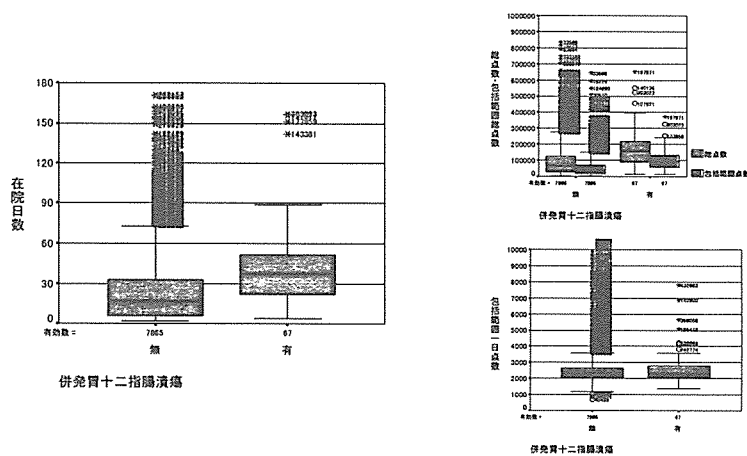
図B群(併存急性心不全)



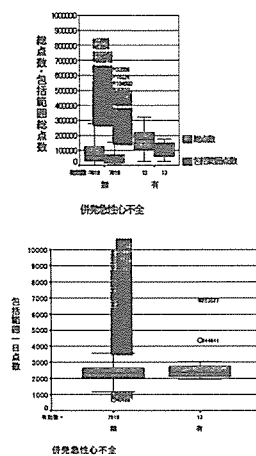
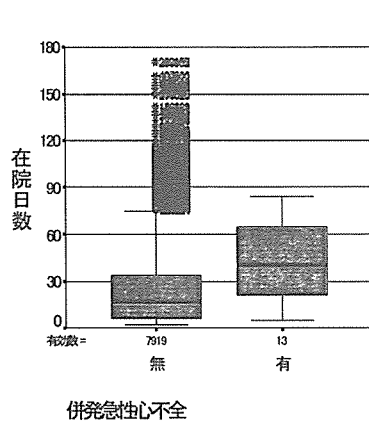
図B群(併発脳血管障害)



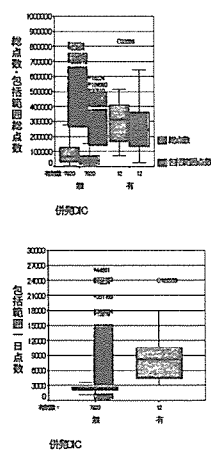
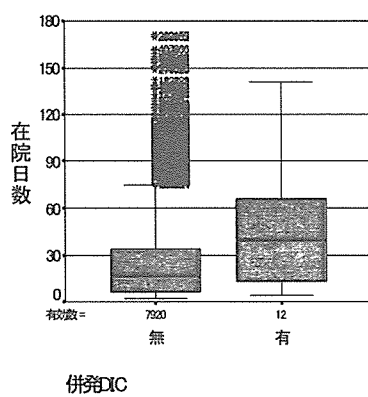
図B群(併発胃十二指腸潰瘍)



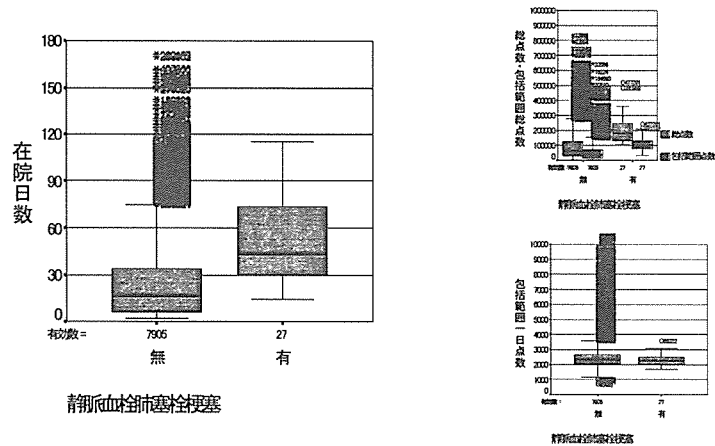
図B群(併発急性心不全)



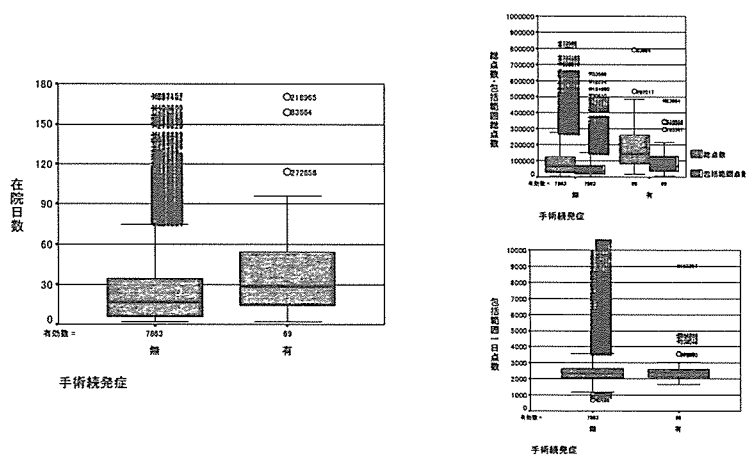
図B群(併発DIC)



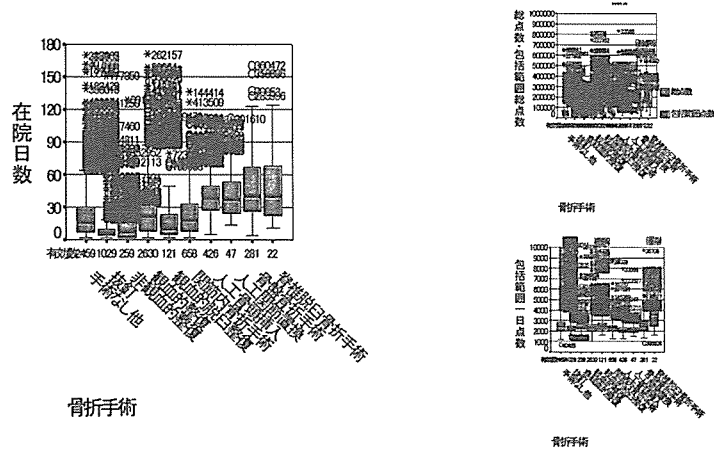
図B群(静脈血栓肺梗塞)



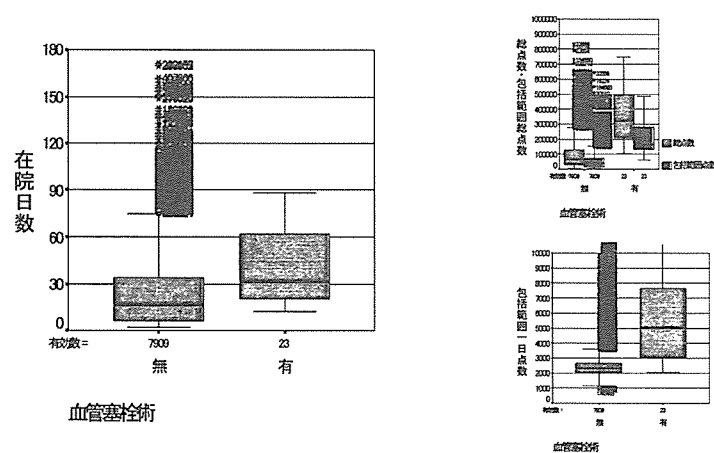
図B群(手術関連続発症)



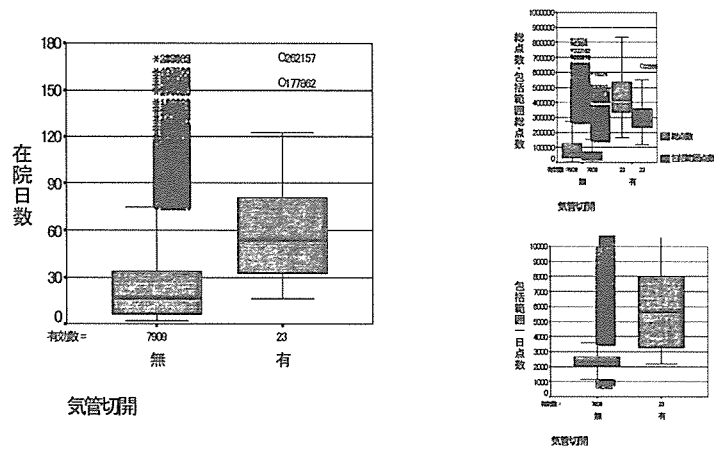
図B群(手術)



図B群(血管塞栓術)



図B群(気管切開)



図B群(再建手術:骨移植)

